

事務事業評価シート (1 / 2)

1 頁
令和 4 年 8 月 20 日
12 時 15 分 40 秒

評価年度 令和 3 年度 進捗区分 2 次評価

所属 0001102510 契約検査課契約係

事務事業 02412 入札契約事務

電話番号 0566-71-2211

【基本情報】

計画次数	02	第 8 次安城市総合計画			
5 K の分類	006	行財政運営			
項目 (施策)	001	1 9 行財政運営			
施策の方針	002	効率的な行財政運営			
事務事業	012	入札契約事務			
事業期間	平成元年度 ~				
実施方法	直営				
会計区分	一般会計	事業区分	経常的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト		地方創生	しごとづくり
根拠法令等	地方自治法、同法施行令、安城市契約規則				
備考					

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	入札 (入札参加資格審査、公告・開札)、入札審査会、入札参加資格停止措置等

【コスト】

(単位 : 千円)

	令和 2 年度 決算額	令和 3 年度 決算額	令和 4 年度 予算額
トータルコスト	23,541	23,373	21,959
事業費	231	273	322
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	231	273	322
人件費計	23,310	23,100	19,800
正規 (人)	3.70	3.50	3.00
その他経費	0	0	1,837

	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度
【事務事業活動実績】	入札事務 入札審査委員会 (年 2 3 回) 入札参加資格停止措置 (随時)	入札参加資格審査 (定 時受付) / 2 年に 1 回 入札事務 入札審査委員会 (年 2 3 回) 入札参加資格停止措置 (随時)	入札事務 入札審査委員会 (年 2 3 回) 入札参加資格停止措置 (随時)

事務事業評価シート（2/2）

2頁
令和 4年 8月20日
12時15分40秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2次評価
所属 0001102510 契約検査課契約係
事務事業 02412 入札契約事務

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	最適な契約の相手方を自ら決定する必要があります。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	競争性を確保し、最適な相手方と契約する必要があります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由			
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	電子システムによる効率化を進めています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	国等の動向や社会情勢に注視し、適正な発注に努めています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	工事や業務の発注や契約にあたり、引き続き、透明性、競争性、公平性、公正性を確保しつつ、適正な価格で充実した業務が実施されるようにしていく必要があります。今年度は、工事発注及び施工時期の平準化、最低制限価格等の見直しに関する調査研究をまいります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

3頁
令和 4年 8月20日
12時15分40秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2次評価

所属 0001102510 契約検査課契約係

事務事業 02413 物品調達事務

電話番号 0566-71-2211

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	006	行財政運営		
項目（施策）	001	19行財政運営		
施策の方針	002	効率的な行財政運営		
事務事業	013	物品調達事務		
事業期間	平成元年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	経常的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	地方自治法、同法施行令、安城市契約規則			
備考				

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	入札参加資格登録審査（物品）、入札（物品）、公開見積競争（物品）、全庁で使用する事務用消耗品、燃料等の単価契約、入札審査委員会運営補助

【コスト】

（単位：千円）

	令和 2年度 決算額	令和 3年度 決算額	令和 4年度 予算額
トータルコスト	17,051	19,688	16,930
事業費	3,821	4,508	5,050
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	3,821	4,508	5,050
人件費計	13,230	15,180	11,880
正規（人）	2.10	2.30	1.80
その他経費	0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
【事務事業活動実績】	入札参加資格登録審査（物品）、入札（物品）、公開見積競争（物品）、全庁で使用する事務用消耗品、燃料等の単価契約、入札審査委員会運営補助	入札参加資格登録審査（物品）、入札（物品）、公開見積競争（物品）、全庁で使用する事務用消耗品、燃料等の単価契約、入札審査委員会運営補助	入札参加資格登録審査（物品）、入札（物品）、公開見積競争（物品）、全庁で使用する事務用消耗品、燃料等の単価契約、入札審査委員会運営補助

事務事業評価シート（2/2）

4 頁
令和 4 年 8 月 20 日
12 時 15 分 40 秒

評価年度 令和 3 年度 進捗区分 2 次評価
所属 0001102510 契約検査課契約係
事務事業 02413 物品調達事務

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補 完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	最適な契約の相手方を市自ら決定する必要があります。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	競争性を確保し、最適な相手方と契約する必要があります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由			
4	効率性 事業の効率化・事業費 の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	2
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	電子システムによる効率化を進めています。		
5	公平性 事業規模・サービス水 準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	国等の動向や社会情勢に注視し、適正な発注に努めています。		

【1 次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1 次コメント (400 文字)	物品の調達にあたり、引き続き、透明性、競争性、公平性、公正性を確保しつつ、効率的な発注に努める必要があります。今年度は、社会情勢に応じた適正な発注や状況調査について研究してまいります。

【2 次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2 次コメント (400 文字)	本事業においては、2 次評価を実施していません。

事務事業評価シート（1/2）

1頁
令和 4年 8月20日
12時16分49秒

評価年度 令和 3年度 進捗区分 2次評価

所属 0001102530 契約検査課検査係

事務事業 02417 設計・工事検査事務

電話番号 0566-71-2211

【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	006	行財政運営		
項目（施策）	001	19行財政運営		
施策の方針	002	効率的な行財政運営		
事務事業	014	設計・工事検査事務		
事業期間	昭和53年度～			
実施方法	直営			
会計区分	一般会計	事業区分	経常的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	公共工事の品質確保の促進に関する法律			
備考				

【事業分析】

対象	
目的	
手段	
事務内容	

【コスト】

（単位：千円）

	令和 2年度 決算額	令和 3年度 決算額	令和 4年度 予算額
トータルコスト	29,715	31,038	32,359
事業費	4,515	4,638	5,959
国庫支出金	0	0	0
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	0	0
一般財源	4,515	4,638	5,959
人件費計	25,200	26,400	26,400
正規（人）	4.00	4.00	4.00
その他経費	0	0	0

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
【事務事業活動実績】	設計書の確認 工事検査 320件 委託検査 29件 総合評価競争入札の実施 55件（うち特別簡易型46件、施工体制確認型9件） 技術職員研修会の実施 3回	設計書の確認 工事検査 272件 委託検査 15件 総合評価競争入札の実施 62件（うち特別簡易型43件、施工体制確認型19件） 技術職員研修会の実施 2回	設計書の確認 工事検査 委託検査 総合評価競争入札の実施 技術職員研修会の実施

事務事業評価シート（2/2）

2頁
令和4年8月20日
12時16分49秒

評価年度 令和3年度 進捗区分 2次評価
所属 0001102530 契約検査課検査係
事務事業 02417 設計・工事検査事務

【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度

【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市が発注する工事等の審査・検査は、市自身で行うべきものです。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	市が発注する工事等の審査・検査は、市自身で行うべきものです。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由			
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	工事書類の簡素化や電子納品に取り組み、効率化を図っています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他自治体の取組を調査し、必要に応じ見直しを図っています。		

【1次評価結果】

事業の方向性	拡充
1次コメント (400文字)	公共工事の品質及び経済性を確保するため、設計積算の運用・指導を行うとともに、適切な工事検査を行なっていく必要があります。また、総合評価競争入札について検証を行い、評価項目や対象工事を継続的に見直してまいります。その他、適正な工期を確保した発注を行うとともに、建設業の週休2日制への取り組みを推進してまいります。

【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。